

科目名称	コミュニケーション論	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 前期	1	30時間のうち 20時間
担当教員	高橋 平徳	授業に関わる 実務経験	☐ 有 () ☒ 無	

【1】授業概要

対人コミュニケーションの理論と対人関係技法の基礎を学び、看護における様々な対象とのコミュニケーション能力を高める基盤とする。

【2】学習目標

1. 教育学の基礎的な理論を説明することができる。
2. 学習と指導のさまざまな技法を説明することができる。
3. 学習と指導の技法を、生涯にわたって活用することができる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☐ 1. 生活者としての人間の理解
- ☐ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☒ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☐ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☒ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	授業の概要説明、看護における学習と指導	講義・演習
2	学習の特徴、知識の学習、技能の学習、態度の学習	講義・演習
3	指導の設計、目標設定、適切な指導方法の選択、教材の準備	講義・演習
4	指導の構成、指導案、説明・発問・指示	講義・演習
5	評価の目的、評価の構成要素、さまざまな評価方法	講義・演習
6	動機づけの理論、学習意欲を高める具体的な方法	講義・演習
7	コーチング、非言語コミュニケーション	講義・演習
8	ディスカッションの方法、ディスカッションを活性化する工夫	講義・演習
9	専門職の学習の特徴、学習の3つの形態、経験学習	講義・演習
10	試験・まとめ	

【5】評価方法

授業の中での学習活動への参加(30%)、授業のリフレクション(20%)、最終テスト(50%)

【6】教科書

中井俊樹・小林忠資編(2015)『看護のための教育学』医学書院

【7】参考書

中井俊樹編(2014)『看護現場で使える教育学の理論と技法』メディカ出版。各授業時にワークシートを配付します。

【8】受講生へのメッセージ

看護現場において、看護師はさまざまな対象とコミュニケーションを行うことが求められます。この授業では、特に学習と指導という教育学の観点から、コミュニケーションの基礎的な理論と技法を学び、看護におけるさまざまな対象とのコミュニケーションを円滑に行うための技能を身につけます。

科目名称	コミュニケーション論(手話)	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 前期	1	30時間のうち 10時間
担当教員	松本 雅美	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (手話通訳士) ☐ 無	

【1】授業概要

聴覚障がいや聴覚障がい者の事を理解し、そのコミュニケーション方法について学ぶ。コミュニケーションにおいて特別な配慮を要する対象者への支援方法を学ぶ。日常会話・医療介護現場での頻出単語・会話の手話表現を学ぶ。

【2】学習目標

1. 聴覚障害者等、コミュニケーション弱者について述べるができる。
2. コミュニケーションにおいて特別な配慮を要する対象者への支援方法を説明することができる。
3. 日常会話・医療介護現場での頻出単語・会話の手話表現を行うことができる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☐ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☒ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☐ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☒ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	聴覚障がい・聴覚障がい者について 聴覚障がい者のコミュニケーション方法について 会話練習(1)挨拶	講義
2	手話について 会話練習(2)自己紹介 名前(固有名詞)の表し方	講義
3	盲ろう(視覚と聴覚の重複障がい)について 盲ろう者のコミュニケーション方法と支援 会話練習(3)人物・家族等の表現方法	講義
4	聴覚障がい者の現状 手話・要約筆記通訳者について 会話練習(4)数詞を使ったいろいろな会話 (5)時の表現(過去・現在・未来)	講義
5	講義:医療・介護現場の実状 試験 まとめ、ポイント復習	

【5】評価方法

出席状況・授業態度・テスト

【6】教科書

「手話コミュニケーション 2021」(配布します)

【7】参考書

「手話を学ぼう・手話で話そう」全国手話研修センター発行
「わたしたちの手話」全日本ろうあ連盟出版局

【8】受講生へのメッセージ

聴覚障害者等、コミュニケーション弱者について理解します。コミュニケーションにおいて特別な配慮を要する対象者への支援方法、日常会話・医療・看護現場での頻出単語・会話の手話表現を学びます。